

平成 31 年度第 1 回庄原市初任者研修会

平成 31 年 4 月 16 日（火） 庄原市役所 4 階 会議室

「庄原市における教育課題を踏まえ、新任教職員に対して教育推進上の諸課題等について研修を行い、職務遂行上必要な実践的指導力を養うこと」を目的に、研修会を行いました。

【参加者：小学校教諭 8 名，中学校教諭 8 名，養護教諭 3 名，栄養教諭 1 名，主事 1 名】

【講話】「学びと誇りが実感できるまち」

庄原市教育委員会 教育長 牧原 明人

<子供のこと>

子供たちは学びたくて、伸びたくてたまらないと思っている。子供たちに教育的愛情をしっかりと注いでいただきたい。そして「庄原で学んで良かった」さらには、「庄原で学びたい」と思う児童生徒、保護者を一人でも増やしてほしい。そのために、次の 3 点を心掛け、指導にあたること。

- ①学校，教員との良き出会いをつくる。
- ②子供同士の良き人間関係をつくる。
- ③学校，家庭，地域と一緒に教育活動を行う。

<基本姿勢について>

自らを磨いて，自ら成長しようとしているかが大切である。探究力や学び続けることを忘れてはいけない。そして，社会人として，次の 3 点に留意すること。

- ①期限を守ること。見通しをもった仕事をする。
- ②誠意をもって取り組むこと。
- ③「何のために今の仕事を行うのか」を意識して実践すること。

(参加者の振り返りより)

- 庄原市には豊かな自然，助けあう心，素直で真っ直ぐな子供たちなどたくさん魅力があることが分かった。地域力を生かした教育を行っていききたい。
- 「学校は子供たちの希望である。」この考え方を忘れず，日々の取組を実践していく。
- 伸びたくてたまらない子供たちの思いをしっかりと実現させるために，専門性と人間性を高め，授業力の向上に努めたい。
- なぜこの職に就きたいと思ったのか，初心を忘れないようにしていきたい。
- 学び続ける姿勢を忘れず，子供たちと日々成長していきたい。



【講話・演習】「児童生徒，保護者への適切な対応」

庄原市教育委員会 教育部 教育指導課 指導主事 伊澤 知弥

児童生徒や保護者へ対応する際は，教育的愛情をもって，誠意をもって，そして早期対応していくことが重要である。児童生徒対応で，特に「いじめ」については，積極的に認知し，早期に解決していく必要がある。そのために日々の児童生徒の様子をしっかりと観察したり，居場所づくりなどの未然防止策を行ったりする。また，アンケートや個人面談，生活ノートや日記などを活用し，早期発見，早期解決に取り組むことが大切である。対応の難しい事案については，一人で問題を抱え込まず，管理職や同僚へ報告・連絡・相談を行い，複数対応で誠意をもって事案に取り組んでいく。

(参加者の振り返りより)

- 具体的な事例演習を通して，一人だけで考えて対応していくのではなく，複数で対応策を考え，そして組織的に最善の対応をしていく重要性が分かった。
- 積極的な生徒指導を増やし，後追いのような消極的な生徒指導が減るようにしていきたい。
- 普段から児童生徒の様子をしっかりと見て，児童生徒の変化に気づくことのできる感性を磨きたい。
- 保護者の思いに傾聴し，誠意をもって対応していきたい。

